



図書・資料室だより

この本、
読んでみて!

新しい本が
入りました!



『震災婚 震災で生き方を変えた女たち』
白河桃子著 ティスカヴァー 2011年

東日本大震災をきっかけに女性たちの中で何かが変わった—。結婚・恋愛・婚活・消費・ライフスタイルの変化などを通して検証。震災を期に結婚を決意した人、別れた人、婚活を始めた人、震災前後での女性たちの心境の変化を追う。
『婚活時代』白河桃子のルポルタージュ第2弾。



『その後の不自由
「嵐」のあとを生きる人たち』
上岡陽江・大嶋栄子著
医学書院 2011年

薬物やアルコール依存症の女性たちの克服後を追う。

依存症になるきっかけは人それぞれだが、それらに頼らなければ生きていくことが辛すぎる環境、性暴力や児童虐待など理不尽な体験…そういった数々の辛さが依存症を引き起こした原因であることが多い。

依存症克服にはとても長い年月がかかる。度々起こる心身の不調、周りの無理解や偏見など「その後の不自由」が当人たちを苦しめる。著者の上岡陽江さんもかつては依存症であった。経験者であるからこそ彼女たちの悩みや辛さを理解でき受け止められる。本書は、依存症の人に対する理解を広めるとともに渦中にある当人たちへの応援メッセージでもある。

『地のはてから』(上・下)
乃南アサ著
講談社 2010年

厳しい自然、手付かずの荒れた土地、アイヌ語で「地のはて」といわれるこの地に北海道開拓移民団として家族と移ってきた少女、とわ。子どもから大人へと成長していく過程での心情を細やかに描いた作品。

慣れない土地、電気も水道もない過酷な自然の中での暮らし、たくさんのお会いや別れ、悲しい出来事。大正から昭和にかけて運命に翻弄されながらも強く幸せに生きていこうとする女性の生涯を丹念に描く。

構想10年、書き下ろし長編大作!



『住み開き -家から始めるコミュニティ』
アサダワタル著
筑摩書房 2012年

自宅の一部を改装して博物館、劇場、サロンやカフェを運営。廃工場や元店舗でシェア生活。

家を開いたら、そこは人が集い、語らう空間へ。人と人の繋がりを求めて、「住み開き」したお宅を紹介。



『走れ! 助産師ボクサー』
富樫直美著
NTT出版 2011年

助産師とプロボクシング、どちらもハードな世界、逃げだしたくなることも一度や二度ではない。なぜ、そこまで頑張れるのか? 二つを両立させる気力や体力はどこからくるのか?

助産師として、ボクサーとしての思い、感じたこと、これからの夢を素直な言葉で語る。

辛いときや何かに悩んでいる女性に勇気をくれる一冊です。



『わたくしは永遠に失望しない
写真集・平塚らいてう一人と生涯』
らいてう研究会編
奥村敦史監修
ドメス出版 2011年

平塚らいてうの写真集。

「原始、女性は太陽であった」と自らが創刊した雑誌『青鞥』で宣言し、1971年に亡くなるまで、常に思ったことを書いてきた平塚らいてうの写真集。奥村敦史氏所蔵のアルバムからも掲載。



他にもたくさん入りました! 予約もできます。

裏面も見てね!

『復興支援 活かしたい女性力』 &
『過去の新聞でふり返る、しがの男女共同参画』他

復興支援 活かしたい女性力



『震災・原発事故と福島の女性たち』
社団法人国際女性教育振興会
福島支部編 2011年

福島の女性47人が被災後3ヵ月半の心境を語る。地震、大津波、原発への計り知れない恐怖、家族や知人の死、避難所生活やこれからの不安などを克明に記録している。



『女も男も』No.119 2012年 春号
特集「震災とジェンダー」

男女平等の視点で考える防災・復興支援を中心に、被災地での女性の声を今後に活かしていくために、もりおか女性センターの活動報告や被災地における性暴力・DV問題や女性の貧困について等、震災後見えてきた新たな問題や今までの災害からの教訓が活かされたかどうかをまとめている。

『災害と女性の危機回避スキル』
インパクト東京 2012年

阪神淡路大震災で被災女性への性暴力が起こったことがきっかけで女性が自分自身を守る技術を伝えることが大切だと1997年から活動を開始したインパクト東京の報告書。



『こんな支援が欲しかった！現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集』
東日本大震災女性支援ネットワーク 2012年

災害での支援事例を発生直後から復興期を経て常時まで段階別に、多様なニーズに配慮した支援とは？どんな対策が必要とされるのかをまとめている。

過去の新聞でふり返る—1998年9月 しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。1998年9月は、どんなことがあったのでしょうか？

記事【母親の目で環境問題考え
ミニコミ誌「ECOマザークラブ」創刊
八日市 永源寺の3人】
1998(H10)/9/12 (京都新聞)

旧八日市市、永源寺町の女性3人が、環境問題をテーマにしたミニコミ誌を創刊。

子どものアレルギー症状という共通の悩みを持ち、環境問題への関心が高まっていたことが発刊のきっかけ。

2000年頃まで活動され、ミニコミ誌は年に4回、6号まで発刊されました。2012年現在、活動は行なわれていません。(創刊者より)

★上記、ミニコミ誌は所蔵しております。



『つゆのあとさき...
特別養護老人ホーム物語』

赤羽みちえ・著 秋田書店 2007年

介護をテーマにしたコミックです。

特別養護老人ホーム・涼風荘の介護士、津田愛子は6年の介護士歴をもつが、このホームに来て2ヶ月の新任職員。様々な問題にぶつかりながらも高齢者を尊重し気持ちに寄り添った介護を志す愛子たち、理想と現実の狭間で悩みながらも血の通った介護をする姿に心打たれる作品。



...図書・資料室 ご利用案内...

開室時間 9:00~17:00

9月の休室日 3日、10日、
18日、24日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間
ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)
0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。

貸出冊数を15冊
に増やしました。
どうぞご利用
ください!



♪ひとこと♪

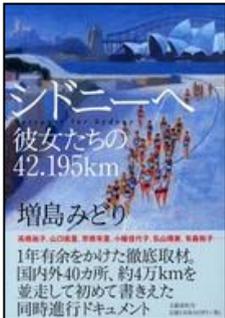
休日に、福井の海辺の街へ出かけました。雲ひとつない晴天、海と空の壮大で爽快な景色に感動して、滋賀に帰ってくると、車窓から夕日に光る琵琶湖が。対岸の山々と湖面の美しさはいつまでも眺めていたい景色でした。美しい景色に出会えた夏の日でした。

図書・資料室だより



スポーツと女性

☆トップをめざして



『シドニーへ 彼女たちの42.195km』
増島みどり・著 文藝春秋 2001年
2000年に開催されたシドニーオリンピック女子マラソンは、高橋尚子選手が見事金メダルを獲得。あの35キロ地点でのサングラスを投げるアクションとスパートがとても印象的でした。
42.195kmを走る為にその何倍もの距離を走る過酷な練習をしてきた女子マラソン選手たちが、マラソンにかける想いや、レース中の胸の内を明かす。



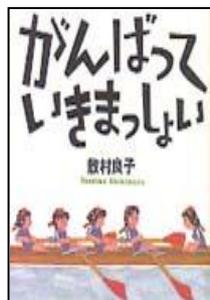
『女は女が強くする』
井村雅代・宇津木妙子・五明みさ子・著
草思社 2001年
シンクロ・ソフトボール・新体操のナショナルチームの指導者が語る、指導する側の気持ちや迷い、選手に対する思いなどが綴られています。女性特有の弱点やいやらしさなど同性だからこそこわがることや難しいことも。厳しい練習の裏には選手への愛情や信頼関係が感じられます。



『カゼヲキル1 助走』
増田明美・著 講談社
2007年

自然の中で鍛えられた天性のパネを持つ中学2年生・山根美岬。全日本ジュニア強化委員の沢森に注目され、本格的な指導を受けることに。
オリンピック経験者であり、スポーツジャーナリスト・増田明美のリアルなマラソン小説です。

☆読んで体験！ スポーツの素晴らしさ



『がんばっていきまっしょい』
敷村良子・著
マガジンハウス社 1996年

高校の入学式まで暇をもてあましていた篠村悦子はある日、川岸でボート部の練習を見かける。ボートに魅力を感じた悦子は高校でボート部に入部したいと期待するが…。ボート部に情熱をそそぐ女子高生の奮闘を描く。
愛媛県の方言がテンポ良く、活気に満ちた小説です。

☆スポーツをジェンダーの視点から

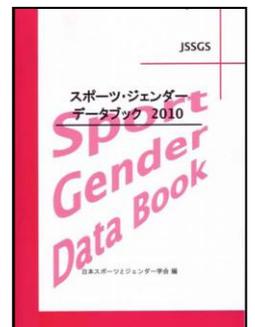


『スポーツする身体とジェンダー』
谷口雅子・著
青弓社 2007年
男女が別々に競技する現代スポーツに対して「男女別競技を撤廃しよう」「男女の身体能力差を考慮すべきだ」などの多様な意見がある。現在の男女別競技はどのようにして今日に至ったかを検証していく。



『スポーツとジェンダー研究』
第1号(2003年)から所蔵
日本スポーツとジェンダー学会の機関誌。
スポーツをジェンダー、男女共同参画の視点で研究された論文の発表など、国内で唯一の学会誌。 年刊誌

『スポーツ・ジェンダー データブック2010』
日本スポーツとジェンダー学会編 2010年
日本のスポーツ界における男女共同参画の進展について、学会がこれまでに調査研究してきたデータをまとめたもの。「年表でみるスポーツ・女性・ジェンダー」は1900年～2009年にわたる変遷を見ることができる。



裏面も見てね！
『夏、読む本』&
『過去の新聞でふり返る、しがの男女共同参画』他



『ぼくらが作った いじめの映画』
いじめを演じて知った本当の友情
今関信子・文 尾木直樹・解説
佼成出版社 2007年

群馬県の大胡小学校「映画クラブ」の6年生たちが作成した「いじめ」の映画。シナリオ、演出など映画作成の全てをクラブのみんなで考えた。演技だとわかっていても気持ちが辛くなることを経験した児童たちは、いじめと真剣に向き合ったことでいじめのむごさ、本当の友だちとは何かを知る。

夏、読む本

夏、読む本

この夏、読んでほしい児童書

『スペシャル・ガール リベリアの少女と日本の看護師の物語』
沢田俊子・著 汐文社 2007年
一歩が踏み出せないときに、勇気が湧いてくる本。

子どもの頃からアフリカに役に立ちたいという漠然とした思いを持ち続けていた看護師の朋子さんと、リベリアの内戦で下半身に傷を負い歩けなくなってしまった少女マーサ。心身ともに深い傷を負いながらも明るく希望を持ち続けるマーサとの出会いは、朋子さんをどうしてもこの少女を救いたいという思いにさせた。



『生きていたい！ チェルノブイリの子どもの叫び』
チェルノブイリ子ども基金・編
小学館 1998年

1986年チェルノブイリ原子力発電所の爆発で被ばくした子どもたちの絵と詩。放射能で命を落とした子、ガンが一生治らない子、大切な人や物、夢を奪われた…それでも「生きていたい！」と子どもたちは叫ぶ。

過去の新聞でふり返る—1998年8月 しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。1998年8月は、どんなことがあったのでしょうか？

記事①【ストーカー対策を伝授】 1998(H10)/8/13(産経新聞)

県警が女性向けマニュアルを配布する。
県警によると、平成9年度はストーカーに関する相談は88件あり、内訳は「つきまとい」46件、「嫌がらせ」28件などが目立っていた。



記事②【女性の社会参加 数値で支援 県が2010プラン 男性の意識改革も盛る】 1998(H10)/8/21(中日新聞)

県は2010年度を目標年次とする男女共同参画推進計画「パートナーシップしが2010プラン」を策定し、20日、内容を明らかにした。行政の各審議会への女性登用を現行の10数%から30%以上に引き上げるなど62項目の具体的目標数値を設定した。



みんな、いきいきと。 さんかくビデオ



『オフサイド・ガールズ』
イラン/2006/93分

『女子だってスタジアムでサッカーを観戦したい!』

実話をもとに制作されたこの作品。イラン代表の2006年ドイツワールドカップ出場をかけた首都テヘランで行われる一戦を観戦したい女子たち。なぜ、スタジアムに入れないのだろうか？1979年のイスラム改革以降、イランの女性たちには「自由」がなく、女性が男性のスポーツを観戦するのは法律で禁止されていたからだ。この理不尽な規則に、したたかな少女たちの思惑が錯綜し、考えた策は…男装すること。

キャストは全員素人を起用、実際に試合をしているスタジアムでロケという臨場感を見事に表現している。(T)

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 9:00~17:00

8月の休室日 6日、13日、
20日、27日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3751

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。

貸出冊数を大幅に増やしました。
どうぞご利用ください!



♪ひとこと♪

子どもの頃から運動が苦手な私にスポーツに興味はなかった私が、初めてやってみたく興味を持ったスポーツが少林拳法でした。学生の頃に習いはじめ、その時は挫折してしまいましたが、月日が経ち、またやりたくになりました。今、親子で習っています。(N)



図書・資料室だより

この本、
読んでみて!

暮らしに息づく 女性たちの歴史 ～民俗学の本～

身近な生活から婚姻や出産、子育て、成人儀礼、働く女性など、女性の視点に立った民俗学の本を集めてみました。



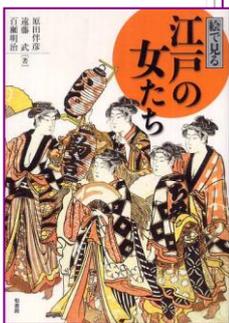
『女の眼でみる民俗学』

中村ひろ子 他・著 宮田登・解説
高文研 1999年
女性民俗学者たちが、民俗にみる女の一生を綴る。初潮を祝う意味と女人禁制、婚姻や妊娠出産にまつわる風習、子育て、そして死生観など、女性たちの風習や伝承を現代と比較し、なぜ今に繋がるのかをわかりやすく解説する。



『女の民俗誌』

宮本常一・著
岩波書店 2001年
宮本氏の膨大な探訪記の中から女性民俗についてまとめたもの。女性への束縛や蔑視、貧困など困難な生活の中を生き抜いてきた無名の女性たちがたくさん登場する。



『絵で見る 江戸の女たち』

原田伴彦 他・著
柏書房 2006年
江戸時代の版本などに描かれた女性たちの日常。洗濯や炊事、子育てなどありふれた日々の暮らし、女性としての嗜みや学び、働く姿など、町の女性たちの普段の様子が繰り広げられる。



『古代 女性史への招待 ＜妹の力＞を超えて』

義江明子・著
吉川弘文館 2004年
古代、女性が力を持っていたという事実を紐解く。酒造りと女性の関係をはじめ、男女同座の祭、作業を指揮する女性など、女性蔑視の意識がなかった古代の女性たちの姿、暮らしとは。エッセイとして気楽に読める研究書。

女性民俗資料 ～滋賀版～



『野の花のように 覚書 近江のおんなたち』

早田リツ子・著 かもがわ出版 1990年
この地の女性たちを“縛っているもの”は何か？自分は今からどう生きていこうかを見つけるために滋賀の女性たちの暮らしがどのようなものだったのかを聞き取り訪ねた。
女性史研究家、早田リツ子さんの本



『土に生きるふるさとの味』全5巻

村田文字・著 第三書館 2009年
1950年からの約30年間、滋賀県で生活改良普及員を勤めた村田文字さんの郷土料理レシピ集。

女性史カフェへのお誘い

- 日時 奇数月の第2土曜日 13:30～
- 会場 滋賀県立男女共同参画センター 図書・資料室
- テーマ 女性史からみる子育て
詳しくは、センター内に設置の「女性史カフェ」のチラシをご覧ください。

『拓く ひたむきに生きてきた近江八幡の女性たち』

近江八幡の女性史を拓く会・編
江戸時代の商家の女性、戦中・戦後の女性の生き方、沖島での暮らしなど、近江八幡女性の記録。

『湖の辺 女ものがたり 滋賀県新旭町の明治・大正・昭和』

風車の町の女性史づくりの会・編
イラストも豊富で、楽しく新旭の女性たちの民俗がわかる。

裏面 新しい本の紹介&

『過去の新聞でふり返る、しがの男女共同参画』他

『ベーシックインカムとジェンダー
～生きづらさからの解放に向けて～』
堅田 香緒里 他・編著 現代書館
(2011)

「ベーシックインカム」とは、全ての個人に無条件で、最低限度の収入を国が補償することを目的としている政策構想のことである。

本書の目的は、ベーシックインカムをジェンダーの視点から考える。主な論点は、性別役割分業を前提とした社会の生きづらさ、女性の労働問題、シングルマザーやDV被害者、子どもや高齢女性の貧困などである。現代の日本社会の中で懸命に生活を営みながらも、貧困や生きづらさを余儀なくされている当事者たちの生の声が集められている。



『コーヒーもう一杯』
平安寿子・著 新潮社 (2011)
人生のピンチに陥った未紀は、勢いでカフェを開くことになった。しかし経験もスキルもナシ！数々の難題を乗り越えて、なんとかオープンしたけれど…。



『きんようびは いつも』
ダン・ヤッカリーノ・作
青山南・訳
ほるぷ出版 (2007)
マイケルは金曜日の朝だけはお父さんと二人で朝ごはんを食べに出かけます。
お父さんと子どものとても幸せな時間。



過去の新聞でふり返る—1998年7月 しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。1998年7月は、どんなことがあったのでしょうか？

記事①【父親だって子育て参加 伊吹で親子講座】 1998(H10)/7/5(中日新聞)

幼稚園と保育所の園児と保護者でつくる「いぶきすくすくクラブ」の行事の様子。父親の子育て講座後、親子で水遊びを楽しむ。

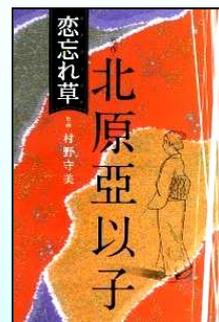


記事②【女性の視点で町政追及 「一日議員」一般質問】 1998/7/29(京都新聞)

日野町内で公募した一日女性議員が、町長らに一般質問する「町女性議会」が同町役場内の議場で開かれ、活発な質問が次々と出され緊張した雰囲気が続いた。この「一日議員」は女性の視点から町づくりについて、広く意見や提言を聞き、町政に反映させようと町が公募して初めて開いた。



みんな、いきいきと。 さんかく コミックス&絵本



『恋忘れ草』

北原亜以子・作/村野守美・画
小池書院 2008年

北原亜以子の小説をコミック化。江戸の町、手に職を持つ四人の女性たちの物語。仕事に打ち込むあまり、恋には不器用な女性たちの、繊細な心情を情緒豊かに描いた作品。

……図書・資料室 ご利用案内……

開室時間 9:00~17:00

7月の休室日 2日、9日、
17日、23日、30日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間
ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3751

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。

貸出冊数を大幅に
増やしました。
どうぞご利用下さい！



♪ひとこと♪

このたよりを持って、「この本が借りたい」と来室される方、毎号綴じてくださる方、いろいろな方法でご利用くださり、とても光栄に思います。毎月ギリギリまで、なんにも思い浮かばないこともありますが、おかげさまで30号を迎えることができました。(N)



図書・資料室だより この本、読んでみて!

6月23日(土)~29日(金)

男女共同参画週間

内閣府等が主唱する「男女共同参画週間」。
今年の重点テーマは「男女共同参画による日本再生」です。元気な日本を取り戻すキープポイントとして、女性が社会のあらゆる場面に参画し、その能力を発揮することが掲げられています。
6月号の特集は、日本の問題を自分たちの問題として考えるきっかけになるような本をご紹介します。



『あきらめない
働くあなたに贈る真実のメッセージ』
村木 厚子・著 日経BP社 (2011)

“どんなことがあってもあきらめない！人生に何が起ころうともリカバリできる”一。
「働く女性の希望の星から」一転、逮捕、勾留。極限状態でも決して屈しなかった彼女のあきらめない心の秘密とは。震災後も力強く生きるための今の日本の指針の書として必読です。



『不安家族 働けない転落社会を克服せよ』
大嶋寧子・著
日本経済新聞出版社 (2011)

不安定雇用が広がり、結婚し、子どもを育てることが当たり前のことではなくなりつつある現代。本書は雇用と家族の生活基盤の揺らぎを詳細に分析し客観的事実として提示しています。

私たちの暮らしをより良くするためには何が必要なのか？自分の生活と日本の将来を守る政策とは？真剣に見極める意識を高めることが大事だと述べられています。



～滋賀の男女共同参画～

統計結果を中心に、県内の男女共同参画の現状をまとめたパンフレット『滋賀の男女共同参画』(平成24年3月発行)

「男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」「国勢調査」等の調査結果をもとに、「女性の参画」「意識」「労働」「家庭」「配偶者からの暴力」の5分野において滋賀県と全国の現状を比較してグラフなどで見やすくお知らせしています。



男女雇用機会均等月間

厚生労働省では、男女雇用機会均等法の公布日(昭和60年6月1日)を記念して、6月を「男女雇用機会均等月間」と定め、職場における男女均等について認識と理解を深める各種活動を実施されています。



『女性労働研究』2011 No.55
女性労働問題研究会編
特集 均等法25年と女性労働
～分断から連帯へ～

女性の労働をテーマに扱っている研究誌。均等法25年を経た今、女性の働き方について主に非正規雇用の問題について特集されています。

MEMO

【男女雇用機会均等法】

募集・採用から定年・退職・解雇に至る女性差別を禁止する法律。
労働基準法において、賃金以外の労働条件全般について男女差別を禁止する規定はなかった。しかし、1985年に日本が国連の女性差別撤廃条約に批准する段階で、このことが条約内容に違反すると理解されたため同年、雇用における性差別全般につき規制する法律として制定された。
『岩波 女性学事典』より

『ルポ職場流産』

雇用崩壊後の妊娠・出産・育児』
小林美希・著 岩波書店 (2011)



職場流産というショッキングなタイトル。妊娠しても様々な理由から労働を続けなければならず、その結果、流産・・・。
職場流産をはじめ、妊娠解雇、育休切り、産科医療崩壊など、当事者達の切実な声です。

『まっすぐに、美しい未来を』

課長になった芝信用金庫の女性たち』
中西英治・文 芝信用金庫男女差別是正裁判原告団・編集
学習の友社 (2005)



芝信用金庫で働く女性13人が15年の歳月をかけて闘った女性差別是正裁判の記録。男女雇用均等法ができて初めての裁判で「女性を昇格せよ」という判決は日本社会に一つの風穴をあけました。

裏面 「新しい本」 & 新連載 「過去の新聞でふり返る、しがの男女共同参画」 他



『日本の幸福度 格差 労働 家族』
大竹 文雄 白石小百合 筒井義郎／編著
日本評論社 2010年

日本人の幸せは何によって決まっているのか。
本書は、ライフスタイルに関わる労働や結婚、子育てなど項目ごとに実証的、経済学的に分析されています。

ちなみに、経済開発機構 (OECD) が発表した今年の「より良い暮らし指標=BLT」では日本は 36 カ国中 21 位。BLT は国内総生産に代わる国民の豊かさを測る指標として 2011 年から発表されています。(H24/5/23 付 日経)

『ただいま 乳房再建中！
乳がん治療のもう一つの選択肢』
川野すみれ／絵と文 土井卓子／解説
学研 2009年

乳がんの全摘手術を選んだ著者の闘病体験記。
しこり発見から、マンモグラフィーをはじめとする検査、手術、そして乳房再建手術までを絵と文で絵日記風に綴った本書。

優しい色合いの絵とともに乳がん治療に対する正直な気持ちが続られています。



新しい本

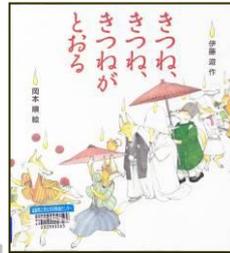


絵本『きつね、きつね、きつねがとる』
伊藤 遊／作 岡本 順／絵
ポプラ社 2011年

きれいなお嫁さんってどこ？
大道芸ってなに？

大人は大きいから見えるけれど、まだ小さいわたしには見えないよ。でも、こどもにしか見えないこと、実はある。それは・・・。

第17回 絵本大賞受賞



過去の新聞でふり返る—1998年6月 しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から県内の男女共同参画社会に関する新聞記事を保存しています。過去にはどんなことがあったのでしょうか？

記事① 【女性問題への理解深めよう
映画鑑賞とトーク会 男性の意識改革も訴え】
1998(H10)/6/30 (京都新聞)

女性を題材にした映画を鑑賞後議論するシネマ&トークが草津シネマハウスで開催。市民ら 650 人が参加した。草津市の女性政策の一環で民間の映画館を利用した初の試み。上映作品は「ユキエ」「女人、四十」。



記事② 【不利な対応受けた
県内女子学生の過半数回答 就職活動アンケート】
1998(H10)/6/3 (産経新聞)

滋賀女性少年室 (現在の滋賀労働局) が県内の女子学生を対象にアンケート調査。女性であることを理由に男子学生と異なる扱いを受けたという回答が 53.3% を占めた。またどのような働き方をしたいかという質問では「定年まで働き続けたい」が 7.3% と少数。「結婚や出産で一時的に退職し家庭に入るが再び働きたい」が 7 割をオーバーした。

みんな、いきいきと。 さんかくビデオ

『火星のわが家』(2000年製作)

製作・監督・脚本・編集 大嶋 拓



第12回
東京国際映画祭
参加作品

家族の絆が問題になっている今、家族について考えさせられる作品。

N.Y でボーカリストとして活躍している未知子はある心の病を抱えて帰郷する。父康平はそんな未知子を明るく励ますがある日、康平が脳梗塞で倒れてしまう。

父の介護をする未知子と居候の青年。しかし姉の久仁子は施設に入れようと、意見が合わない。やがて姉妹に確執が生じて…。

作品中に流れる鈴木重子さんの音楽が観る人の心に沁みわたります。(T)

.....図書・資料室 ご利用案内.....

開室時間 9:00~17:00

6月の休室日 4日、11日、18日、25日

TEL 0748-37-3751

貸出 本・雑誌:5冊3週間

ビデオ:2本 1週間

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。



♪ひとこと♪

雷の苦手な私は、いつも梅雨から夏にかけては天気予報で雷雨状況などを何度もチェック。今年は5月から天気予報をにらめっこ(><)。

今月号を作成していたある日も、2度の雷雨が！稲光のたびにドキドキ、落雷と停電に冷や冷やしながらか作成していました。(N)





図書・資料室だより この本、読んでみて!

MEMO

内閣府策定の第3次男女共同参画基本計画(平成23年12月)に、「男性にとっての男女共同参画」が新たな重点分野として加わりました。

男もすなる、男女共同参画

“イクメン”、“カジダン”などの言葉が浸透し、男性が家事や育児をし、家庭や地域で活躍する姿を目にすることが多くなりました。社会や男性の意識も変わりつつある中、男性は男女共同参画をどのように感じているのでしょうか？男性が考える男女共同参画の本をご紹介します。



『ウーマン・リブがやってきた』

70年代・目覚めはじめた男たち』

佐藤 文明・著 インパクト出版会 2010年

男性からみた、ウーマン・リブと、男女共同参画社会に向けて動き始めた社会の変化を個人的な感想も含めて記録したもの。著者自身がリブについて興味と理解を示していたことから男子禁制のリブ新宿センターに出入りを許され、「文明さん」と慕われてきた。リブに関わる女性たちとのつきあいを通して、その活動を間近に見てきた著者のクールな視点であったり、共感であったりが率直に綴られている。

新宿区職員でもあった著者は、メンズリブの萌芽、婚姻制度や婚外子差別の運動についても深く関わり、その当時の状況と意見も述べている。



『20人の男たちと語る性と政治』

松井 やより・著

御茶の水書房 2002年

アジア女性資料センターの設立者である松井さんは、機関誌『わたちの21世紀』の特集テーマのなかで男性の視点も必要と、様々な分野で活躍する男性と話をしてきた。本書はその対話集。

フェミニズムや女性問題、介護、労働問題、慰安婦問題など対話は多義にわたり、男性の捉え方、心理、女性と男性の考え方の違いがわかる。



『男性の「生き方」再考』

メンズリブからの提唱』

中村 彰・著

世界思想社 2005年

視点や考えを少し変えてみることで男性の生き方も楽になると提唱している。著者自身が実際の社会生活の中で感じてきた男性の辛さや苦しみが理解できる内容となっている。

6/3
(日)

「さんかく塾」講師!!



『男らしさの社会学』

揺らぐ男のライフコース』

多賀 太・著

世界思想社 2006年

男性を「ジェンダー化された存在」として捉え、「社会的な意味での男性」や「男性性」に焦点を充て、男性のそれぞれのライフステージに沿った生活状況を分析している。

あたらしい本

3月に絵本をたくさん
ご用意しました。
その中から3冊をご紹介します。

『しげちゃん』
室井滋・著
長谷川義史・絵
金の星社 2011年

自分の名前、好きですか？

「しげる」という名前のせいで小さい頃に嫌な思いをした女優の室井滋さんが、自分の名前について語っている絵本です。自分の名前の由来を聞いてからは、とてもその名前が気に入ったそうです。



『地震の夜にできること。』
松本春野 文・絵
角川書店 2011年

怖い思いをしたときや不安なことがあったとき、子どもの不安なところをしずめる絵本です。巻末「子どもの不安にどう向き合うか」 汐見稔幸・解説付



『ぼくとおおはしくん』
くせさなえ・著
講談社 2011年

近江八幡市在住の絵本作家、くせさなえさんの絵本。子どもの純粋な気持ちと生き物への愛情が伝わる絵本です。

近江八幡の実際の町の風景が描かれています。さて、どの辺りでしょうか？

過去の新聞でふり返る—1998年5月 しがの男女共同参画

図書資料室では1998年度から
県内の男女共同参画社会に
関する新聞記事を保存しています。
過去にはどんなことがあったので
しょうか？今月号から連載します。

記事①
【曳山祭・水口ばやし
むかし禁制 いまや金星
女性の活躍定着】
1998(H10)/4/17(京都)

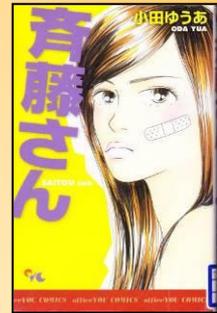
祭要員不足の打開策として女人禁制を解除、女性の参加が定着したという記事です。この記事より遡ること10年前はまだまだ女性参入に抵抗もあったようです。

記事②【女性団員を初募集 長浜市消防本部】
1998/5/2(中日)

女性の関心向上とイメージアップのため、女性団員を初めて募集。
(大津、彦根、守山、旧野洲町には、当時すでに女性消防団員がいたとのこと。)



みんな、いきいきと。 さんかく コミックス&絵本



『斉藤さん』
小田ゆうあ・著
創美社 2006年

「思ったこと、感じたことを率直に言うのって、結構勇気がいる。でも言わなきゃ何も変わっていかない。」
そんな斉藤さんと幼稚園の母親たちを描いたストーリーです。

.....図書・資料室 ご利用案内.....

開室時間 9:00~17:00

5月の休室日 1日、7日、14日、21日、28日

TEL 0748-37-3751

貸出 本・雑誌：5冊3週間

ビデオ：2本 1週間

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。



♪ひとこと♪

今月号から新しく2つの連載を始めます。コミックや絵本、おすすめビデオを紹介するコーナーと、過去の新聞から滋賀の男女共同参画社会の変化を紹介するコーナーです。今年度もよろしくおねがいします。(N)



図書・資料室だより 4月号

平成23年度 貸出ランキング

この本、読んでみて!

たくさんのご利用ありがとうございました!!

23年度は年間で9029冊の貸出がありました。よく貸出された本のベスト10&ビデオやコミック、雑誌など種類ごとの貸出トップをご紹介します。

(貸出データは2011/3/1~2012/2/29の状況)

BEST
10



『図解 自分の気持ちをきちんと伝える技術』
平木典子著 PHP研究所

相手も自分も気持ちよいコミュニケーションとは?アサーションを理解する本です。

第1位



『男おひとりさま道』
上野千鶴子著 法研

ベストセラー『おひとりさまの老後』の男性版。

第6位



『親と子の絆 心がひとつになるとき』
岡田さよ子著 文芸社

発達段階から思春期にある子どもの特徴に応じた接し方。子どもとの関係に悩んだとき、いつでも開きたい本です。

第2位



『女、一生の働きかた 貧乏ばあさん(BB)から働くハッピーばあさん(HB)へ』
樋口恵子 海竜社

女性の平均寿命は86.44歳。元気に働きハッピーに老いる秘訣とは?

第7位



『「NO」を上手に伝える技術』
森田汐生著 あさ出版

誘いを断ったり、間違いを正したり、なかなかはっきり言いにくいものです。「NO」を上手に伝えて本物の人間関係を。

第3位



『子育てハッピーアドバイス』
明橋大二著 一万年堂出版

かわいいイラストとわかりやすいアドバイスが人気で、子育て世代を中心に借りられています。

第8位



『ベストな自分を創り出すNLP心理学』
ユール洋子著 アスカ・エフ・プロダクツ

成功している人はどんな考え方、話し方、行動なのでしょう? NLP心理学に基づく技術。

第4位



『モモタロー・ノーリターン & サルカニ・バイオレンス』
昔むかしジェンダーがありましたとさ』
奥山和弘著 十月舎

桃太郎や一寸法師など、なじみのある昔話を題材に、ジェンダーやDVをわかりやすく解説した本です。自治会や団体の研修で利用度の高い本です。

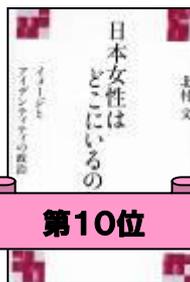
第9位



『人生のエンディング -遺言書、遺品整理、終末医療から葬儀まで』
朝日新聞生活グループ編

人生のエンディング—新聞やテレビでも話題になりました。気になった人も多いのでは。

第5位



『日本女性はどこにいるのか -イメージとアイデンティティの政治』
北村文著 勁草書房

どこにでもいそうで、どこにもいない“日本女性”。日本女性とは一体何かを明らかにする。

第10位

裏面 「資料種別貸出」他

資料種別

第1位

映像資料部門

雑誌部門

コミック・絵本部門



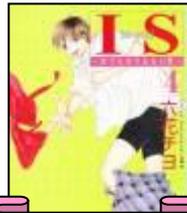
第1位

『アカシアの道』(VHS)
アルツハイマー症、虐待によるトラウマ、母との葛藤を描いた作品。



第1位

季刊『かぞくのじかん』
くらす、育てる、はたらくを考える雑誌



第1位

『IS〜男でも女でもない性〜』
(全17巻)
男女両方の器官を持って生まれた高校生
の淡き恋を綴る。



第1位

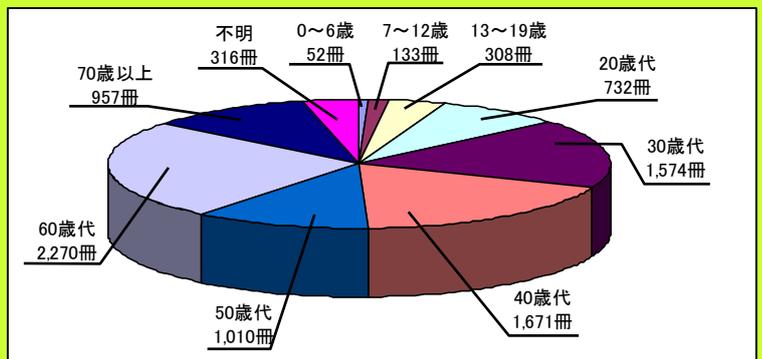
『おでこぴたっ』
おでことおでこをくっつけて。おとうさんにおすすめする絵本。

図書・資料室をよく利用している年代は？

図書・資料室をよく利用している年代を調べると、男女共に60歳代の方の利用が多くを占めているという結果でした。

60歳代以上の方は夫婦や友人との利用をよく見かけます。次いで30～40歳代の利用が多く、親子や家族での利用もよく見かけます。

平成23年度も、様々な年代の方にご利用いただきました。



平成23年3月1日～平成24年2月29日までの貸出冊数グラフ(書籍、行政資料、ビデオ、DVD、雑誌の合計)

絵と詩を楽しむ本



『妻・母、そして女』
北村清美 著 文芸社 2003年

長浜市出身の著者が20代～40代にかけて、女性、妻、母としての気持ちをつづった詩集です。結婚や出産、子育て、そして夢だった教員の仕事など、のびのびと素直な気持ちが表現されています。



『きょうもいい日』
ひらやまなみ 作
幻冬舎ルネッサンス 2008年

暮らしのなかで大切にしたい気持ちを綴った詩とやわらかな色合いが美しい木版画詩文集です。作者は滋賀県在住。

『金子みすゞをうたう みんなを好きになりたいな』
吉岡しげ美 著 はたよこ 絵
クレヨンハウス 2003年



.....図書・資料室 ご利用案内.....

開室時間 9:00～17:00

4月の休室日 2日、9日、16日、23日、24日

TEL 0748-37-3751

貸出 本・雑誌：5冊3週間

ビデオ：2本 1週間

県内在住・在勤の方ならどなたでもご利用できます。



ひとこと

貸出ランキングにコミュニケーション論が10冊中3冊もランクインされていました。職場や学校、地域で、良好な関係が保てるととても楽しいものです。気を遣いすぎても堅苦しい、馴れ馴れしい、ずうずうしいのも嫌がられる、この加減が難しいですね。(N)